



## 仙台広瀬川ワイズメンズクラブ

2017年1月号ブリテン 通算第69号 2017.2.15



事務所 〒980-0822 仙台市青葉区立町9-7 仙台YMCA内

TEL: 022-222-7533 FAX 022-222-2952

Email: [migaku-katoken@mvd.biglobe.ne.jp](mailto:migaku-katoken@mvd.biglobe.ne.jp) 書記 加藤 研ブリテン: <http://ys-east.jimdo.com/bulletin/sendaihirosegawa/>

第1例会: 毎月第3水曜日・第2例会: 毎月第1水曜日 仙台YMCA 18:45

## 2016—2017年度 主題 (Theme)

国際会長	Joan Wilson (カナダ)	「私たちの未来は、今日より始まる」
アジア会長	Tung Ming Hsiao (台湾)	「ワイズ運動を尊重しよう」
東日本区理事	利根川恵子 (川越)	「明日にむかって、今日動こう」
北東部 部長	長岡 正彦 (もりおか)	「明日のために、いま土台を築こう」
クラブ 会長	及川 浩美	「笑顔を絶やさず!」～ Keep on smiling!～

## 2016～2017年度 クラブ役員

会 長	及川 浩美	地域奉仕	伊勢 文夫	メネット会長	松本 京子
副 会 長	佐藤 剛	会員増強	阿部 松男	ブリテン	本野 日出子
	菅野 健		村井 伸夫	ユース	布宮 圭子
書 記	加藤 研	国際交流	吉田 俊一	YMCA	清水川 洋
会 計	門脇 秀知		佐藤 善人	直前会長	佐藤 善人
監 査	高篠 伸子	ドライバー	菅野 健	担当主事	荒木 啓二

## 今月の聖句

吉田 俊一

「だから、あなた方は行って、すべての民をわたしの弟子にきなさい。」

マタイ福音書28章19節

## 巻頭言

## 『納豆と宮澤賢治』

清水川 洋

先日、妻と岩手の花巻温泉に旅行に行った時のことです。

旅館の朝食に納豆が出るのはごく当たり前のことではありますが、何故かその美味しい風味とちょっと変わったパッケージが印象に残りました。

その納豆は、小粒で香りが良く口当たりも良い。そして何よりもパッケージが変わっていて、

「銀河鉄道の夜」「宮澤賢治先生」と書かれたイラストが、納豆の丸いパッケージにぐるりと描いてあるのです。

製造元は「有限会社 大内商店」、自称納豆研究家である私の好奇心がふつふつと湧き上がります。

近代納豆のルーツは盛岡高等農林学校の松村博士が始まりだと言われており、

その助手として近代納豆の研究をしていたのが、大内商店先代の大内金助氏だということがわかりました

そしてその大内金助氏を松村博士に斡旋したのが宮澤賢治であるということも

史実に記載されておりました。

大内金助氏は、実は稗貫農学校における宮澤賢治の教え子の一人だったのです。

なるほど。納豆といえば茨城が有名な気がしていましたが、

そのルーツは実は岩手にあったんですね!

花巻の納豆はなぜ美味しいかということに合点がいった旅行でした。



## 1月第1例会報告

在籍者	17名	出席者	12名	メイキャップ	1名	出席率	76%
メネット	2名	ゲスト・ビジター	名	ニコニコ	15000円		

## 【新年4クラブ合同例会報告】

日時：1月17日（火） 18：30～20：30

場所：「蔵の庄・総本店」

広瀬川クラブ出席者

阿部・荒木・伊勢・及川・加藤・菅野・佐藤善・多田・  
本野・松本・村井・吉田

メネット：加藤・多田

4クラブ出席者：会員31名メネ5名ゲスト3名

会場は和風の黒を基調とした落ち着いた雰囲気のお店。  
会場に入るとすぐに今回主幹仙台クラブ岡ご夫妻（写真下）がにこやかな笑顔で参加者一人々にお声をかけて下さる。これは最高のおもてなしと感激。高松メンの進行で、例会担当仙台クラブ吉田会長の開会点鐘、ワイズソングと信条そして会長挨拶と進み、ゲストの井上さん、小野さん、川上牧師紹介、仙台YMCA菅野会長と村井総主事からの「年頭挨拶」（写真下）の後、平井石巻広域クラブ会長食前感謝、及川広瀬川クラブ会長の「乾杯」により会食・懇談に。今年の「新年合同例会」は石巻広域クラブにとって第1回目の記念すべき参加。

時間の経過と共にあちらこちらで自ずと人の輪も広がる。参加者の笑顔で確信。仙台クラブ鈴木ウイメンのリードでゲームに盛り上がり、気分は最高潮。4クラブ11名の誕生を祝い、青葉城クラブ加藤会長の閉会挨拶。点鐘と共に閉会。笑顔々で次回合同例会を楽しみに、散会。ニコニコは15000円。



## 【2月第2例会報告】

日時：2月1日（水） 18：45～20：00

場所：仙台YMCA

出席者：阿部・伊勢・及川・加藤・門脇・菅野・  
佐藤剛・松本・吉田

<協議報告事項>

- ① 第1例会で『「エプロンシアターグッズ」のお披露目』。大野田保育園大高優歌さんにご披露頂く。
- ② 2016年YMCAクリスマス実行員長伊勢メンより、決算等の報告と次回への提案があった。
- ③ 宇都宮で行われる「ドッジボール大会」への協賛に関しては内容を確認の上及川会長に一任。
- ④ 5周年誌作成にあたり、発刊されたクラブブリテンのCD編集等は門脇・佐藤剛メンに一任。
- ⑤ YMCA依頼「スタッフレター」原稿は今回は菅野メンが担当。以降誕生日順に担当する。
- ⑥ 2月22日「ピンクシャツデー・いじめのない社会のために」への協力のお願いが伝えられた。

### 今後の予定

2月22日（水） ピンクシャツデー

3月1日（水） 第2例会

4・5日（土・日）次期クラブ会長役員研修会

## 仙台YMCA全体研修会

日時：2月11日 会場：日本聖公会仙台教会

160名を超す役員・職員が参加し、「YMCAとワイズメンズクラブ相互理解」を含む4つの目的を掲げて開催された。講演Ⅱでは3月に退職される日本YMCA同盟島田茂総主事（写真）が「YMCAの進むべき道」のタイトルで震災前後からの仙台の想いを語られた。 本当にお世話になりました。



### 編集後記

春が待ち遠しい毎日。雪道・雪かきにはご注意を。H・H

9月20日～12月3日の75日間、私は日本 YMCA スタッフ研修ステップⅡに参加して来ました。村井総主事、松田副総主事をはじめ、高松さん、加藤さん、堀越さん、大野さん皆さんが通られた道を私も歩むことができました。多くの皆様に支えられ研修に参加し学びの時間を持てた事に心から感謝致します。75日間は神様と出会い、神様の声を聴き、仲間と出会い、学び、素晴らしい研修となりました。

この日本 YMCA スタッフ研修ステップⅡには YMCA の全てが凝縮されていました。  
研修中は 135 コマ (1 コマ 90 分) を受講 30 名の講師

■講義内容

【前総主事光永さん】

- ・キリスト教、YMCA 歴史の学び
- ・非営利組織としての学び
- ・YMCA の学び
- ・YMCA スタッフの学び



全ての講義を通じて、キーワードとなった言葉

キリスト教・・・・・・・・・・私たちの全ての根底にあるもの  
 ミッション (使命)・・・・・・・・・・YMCA のミッションは永遠であり重要  
 俯瞰して見る事・・・・・・・・・・まず大きな視点、心で歴史から見る  
 拝聴 (聴くことの大切さ)・・・・・・・・聴くことから全てが始まる  
 愛 (隣人愛を含めた全て)・・・・・・・・愛なくして YMCA は語れない  
 分析の重要性・・・・・・・・・・今の時代、地域では何が求められ行うのか  
 人材・・・・・・・・・・育成することの重要性、人こそ YMCA の宝物である  
 ブランディング・・・・・・・・・・YMCA ブランドを通してよりよい社会を作り上げる未来



様々な知識の学びを繰り返し、自らに落とし込み  
 ↓  
 共に生活する中で愛を持って他者との関係を構築し  
 ↓  
 自らの実践したい事を考え、調べ、論じる  
 ↓  
 そして愛を持って奉仕する意味、生きていく意味を見出す  
 ↓  
 自分自身が未熟でも、神様と共に力強く未来へ歩み出す

2011年3月11日、東日本大震災。仙台 YMCA は危機的な困難に直面した。仙台 YMCA の事よりも地域で困難に直面している人々と共に祈り寄り添い過ごした。神様の愛に包まれ、弱い人々の悲しみ、苦しみに寄り添うことができた。あれから6年の月日が流れ、仙台 YMCA は前を見て進んでいる。震災に際し、多大な支援を頂いた。世界中、日本中の YMCA の仲間、ワイズメンズクラブ、多くの仲間たちが仙台 YMCA を支援した。この場を借りて心から感謝したい。この支援がなければ私は2016年度日本 YMCA スタッフ研修ステップⅡに参加することは難しかったと感じる。今も私たちは東日本大震災支援室を設置し続け、被災地支援の歩みを続けている。これは仙台 YMCA の使命である。胸を張って神様と共に。